

防災のススめ

“もしも”を考えてみよう

風水害編

Step 2



「正常性バイアス」という言葉を知っていますか？ 自分は大丈夫、こんなことが起こるはずがない…と心を落ち着かせようとする心理学用語のひとつです。災害時には、危険だと認識できずに逃げ遅れる可能性もあります。まずは知ることが大事。日頃から情報収集をしておきましょう。



震災伝承ライター ジェンティール恵

まずは自分の身の回りのリスクを確認

身の回りでどんな災害が起こりうるかを想定した「ハザードマップ」が自治体などによって公開されています。災害といっても種類はさまざま。「ハザードマップポータルサイト」では洪水、土砂災害、高潮、津波など、複数の災害リスクを重ねて確認できます。日常の通学・通勤ルートの中なかでも危険な場所を把握しておきましょう。また、指定緊急避難場所や安全な場所も確認しておきましょう。



●ハザードマップポータルサイト (<https://disaportal.gsi.go.jp/>)

信頼ある情報を集めよう



- ▶首相官邸 (災害・危機管理情報)
@Kantei_Saigai
- ▶内閣府防災 @CAO_BOUSAI
- ▶気象庁防災情報 @JMA_bousai

東日本大震災では通信インフラが多大な被害を受け、情報が得にくくなったなか、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が情報伝達の手段として広く活用されました。ただし、災害時は情報が錯綜し、デマや根拠のない噂が拡散しやすくもあります。信頼ある情報元を日頃からチェックしておきましょう。首相官邸や気象庁のSNSなど災害時に役立つものをご紹介します。

警戒レベル4で必ず避難しよう

2021年5月20日から「避難勧告」は廃止され、警戒レベル4の「避難指示」で危険な場所から全員避難することとなりました。避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は警戒レベル3で必ず避難してください。小・中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。普段から災害時にどう行動するか決めておきましょう。また災害時には避難指示に限らず情報は更新されていきます。常に最新情報を得るようにしましょう。



(写真引用：内閣府(防災担当)・消防庁「新たな避難情報に関するポスター・チラシ」)

「これが現実…」

防災イラストレーター ico.



作者：ロイヤル ico. 宮城県名取市閑上出身。現在福島市在住。イラストレーター兼防災士。東日本大震災と台風19号の二度にわたる被災体験から、防災の大切さを分かりやすく伝える活動を行っている。

参考

- 「防災の手引き～いろんな災害を知って備えよう～」首相官邸
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html> (参照2023-01-11)
- 「災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう～」首相官邸
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html> (参照2023-01-11)
- 「防災情報のページ みんなで減災」内閣府
https://www.bousai.go.jp/oyakudachi/info_general.html (参照2023-01-11)